

# プログラミングで夢と希望を

## テーマに関する説明



私達は高知県は東京などの都会と比べ、プログラミングを含めた最先端の技術に触れる機会が少ないと考えました。そこでプログラミングに触れる機会を作ることにより、高知県の子供達にも新しいことへチャレンジする手助けとなるようなイベントを開きたいと思いました。このイベントを通し、子供たちの将来の可能性を広げたいと考え、“プログラミングで夢と希望を”というテーマのもと取り組みを行ってきました。

またこの取り組みはSDGsの17項目の中の4番目の“質の高い教育をみんなに”に関係があります。この取り組みを通して、地方と都会の教育の格差を是正するきっかけ作りができると考えました。

## プロジェクトの目標

私達は「プログラミングイベントを成功させる」ことを目標にプロジェクトを行ってきました。テーマにもあるように、地方と都会の教育の格差を是正するためには、地方にはなくて都会にあるものを提供することが必要になってきます。

そして、楽しく学べる場を提供することで、新しいものと触れる機会を作るだけでなく子ども達が意欲的に学ぼうとする姿勢を子ども達自身が作ることが出来るのではないかという意見を基に、私達は“新しいものと触れる機会を作ること”と“楽しく学べる場を提供できるプログラミングイベントを行うこと”の以上の2つがプログラミングイベントを成功



させたことになると思いこの目標にしました。

## プロジェクトの内容

### ◀ プログラミング

Scratchというサイトを用いてタブレット端末でゲームを作りながら子供たちに本格的なプログラミングの基礎を教える。



### ▶ ロボットカー

mBlockというアプリで自らロボットカーの動きをプログラミングし、ミッションをクリアしながらプログラミングの魅力を感じてもらおう。



### ◀ VR

ダンボール製のゴーグルとプラスチック製のゴーグルで、高知県の景色やジェットコースターやお化け屋敷などの映像を見てもらう。



### ▶ AR

子どもたちが色塗りをした動物や車をQuiverというアプリをインストールしたスマートフォンをかざして立体的に動かして遊んだ。



### ◀ ドローン

高知みらい科学館さん提供のブースでScratchというソフトで、ドローンの動きをプログラミングしてドローンを動かす。



### ▶ ドット絵

あらかじめ枠線を書いた絵に丸シールを貼って、ドラえもんやピカチュウなどの絵を完成させることで、絵が点の集合体であることを知ってもらう。



### ◀ デジタルアート

viscuitというソフトを用いて子どもたちが描き、動きや数を決めた海の生物を動きスクリーンに映し、水族館のデジタルアートを作る。



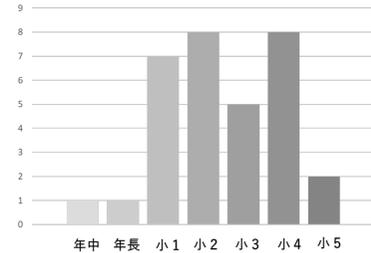
## プロジェクトの実施計画

- 6月・・・コンセプトメイク、計画の決定、場所の検討
- 7月・・・場所・備品・予算の検討、企画書の作成
- 8月・・・パンフレット作成
- 9月・・・パンフレット作成、ホームページ作成
- 10月・・・ボランティアスタッフの募集、zoomミーティング、広報活動
- 11月・・・広報活動、リハーサル、プログラミングイベントの開催
- 12月・・・アンケート集計、ポスター作成



## プロジェクトの成果・まとめ

### ▼参加者の年齢別グラフ

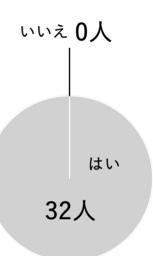


私達は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本来120人収容可能な会場を、参加者とその保護者を合わせて約40人程に抑え、合計約110人の方に参加していただきました。

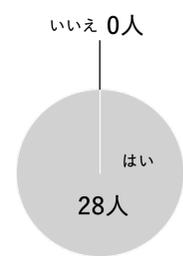
11月に開催したプログラミングイベント「GYAS - Give You A Smile -」では32人の児童と28人の保護者の方からアンケートの回答を頂きました。



↑お家でもやってみたいですか？  
(子ども用アンケートより)



↑また参加したいですか？  
(子ども用アンケートより)



↑また参加させたいですか？  
(保護者用アンケートより)

イベント時の様子から…

アンケートの結果から…

全員がまた参加したいと回答してくれたことから、最新の技術を用いて参加者に興味を持って楽しく学んでもらうという目標やイベントを楽しんでもらうという目標はあ程度達成できたと思う。

## 今後の課題・展望

### 【課題・改善策】

- ・参加者が定員に達していなかった
- ・参加者の予約に誤りがあった
- ・ブースごとに満足度が違っていた

- ・広報活動が不十分である
- 効果的な広報活動について調べる

- ・予約をする際の説明が不十分
- 予約開始前にテストをする

- ・ブース内容に質の差がある
- ブース担当者を増やす or 人数調整

### 【展望】

- ・興味を持ってくれた参加者が多かった
- グローバル探究の活動として今後も継続してイベント企画、運営をする
- ・色々なスキルを身に付けられた
- チームメンバー個人(少人数)でのイベント計画・運営をする